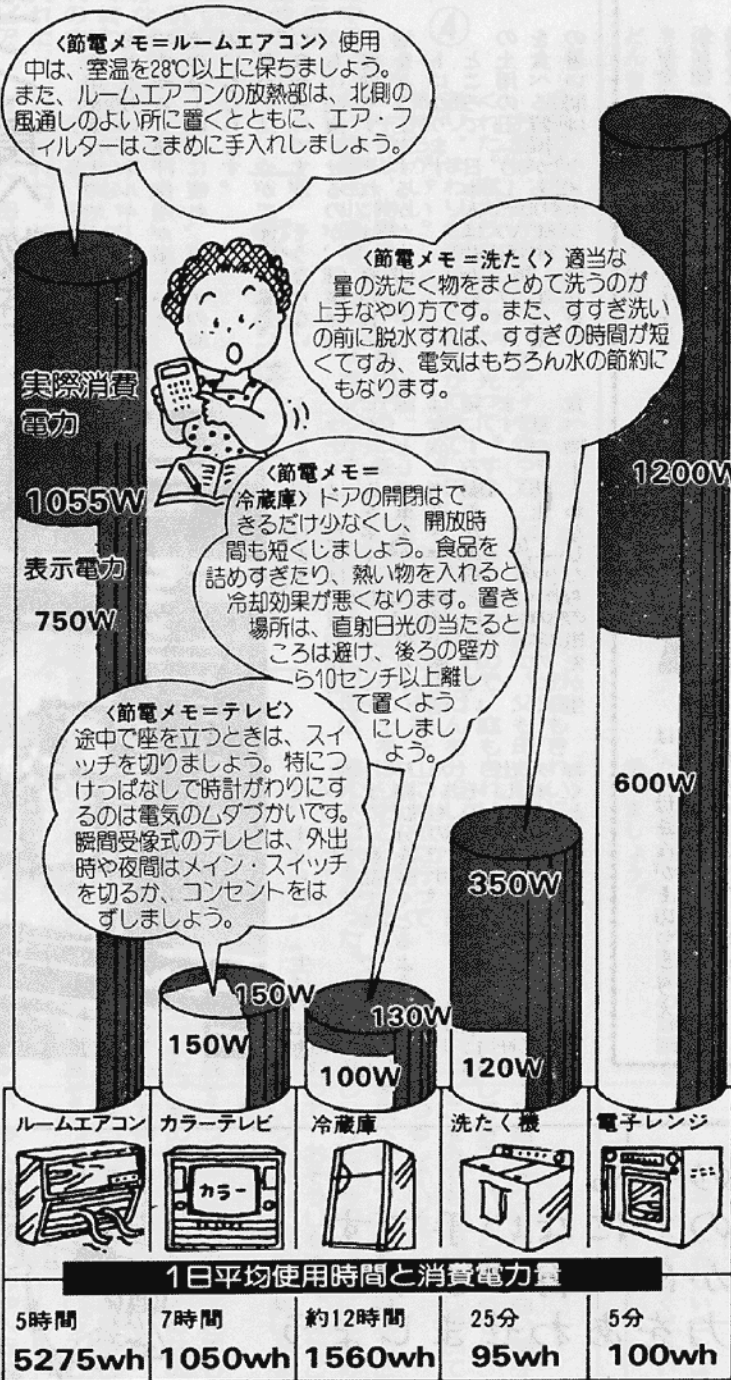


電気がかけていますか 夏の省エネルギー

主な電気器具の電力消費量と1日平均消費電力量



〔注〕表示電力は、その電気器具の能力を示すもので、表示電力と実際消費電力とが違ふのは、付随器具がついていることや、モーターが起動した時に大きな電力を必要とする、ことなどによるものです。

わたしたちの生活は、衣食住をはじめあらゆる面でエネルギーに頼っていますが、エネルギーの「主役」は、なんといっても石油です。飛行機や船、自動車、発電設備などを動かす燃料としてはもちろん、家庭やオフィスの冷暖房用として、また、繊維やプラスチックなど化学工業の原材料として、石油は、わたしたちの暮らしを支えています。

わたしたちは、どのくらい石油を使っているのでしょうか。わが国の石油消費量は、いまだ年間約三億キロリットルにもぼつており、日本人一人当たりビールビン約十一本分に相当します。ちなみに、ビールの年間消費量（昭和五十五年）が約四百五十万キロリットルですから、石油の消費量は、日本人が飲むビールの約

六十六倍もの量になります。しかも、忘れてはならないのは、これらの石油のほぼ全量を外国からの輸入に頼っていることです。ところで、この年間石油消費量約三億キロリットルの約四十％は、火力発電の燃料として用いられています。わたしたちの家庭に送られてくる電気にも、多くの石油が使われているのです。

夏は、ルームエアコンの使用など、一年のうちでも最も多くの電気を使うシーズンです。一軒一軒の家庭で使う電気の量は少なくても、国全体としては膨大な使用量になります。同じように、各家庭でのわずかな節約が、ちりも積もれば山となるので、国全体からみた節約量としては大きなものになります。貴重な石油を大切に使うために、わたしたち一人ひとりが、ふだんから節電を心がけたいものです。

wh=ワット時

〈資料〉 経済企画庁「暮らしの中の省エネルギー」